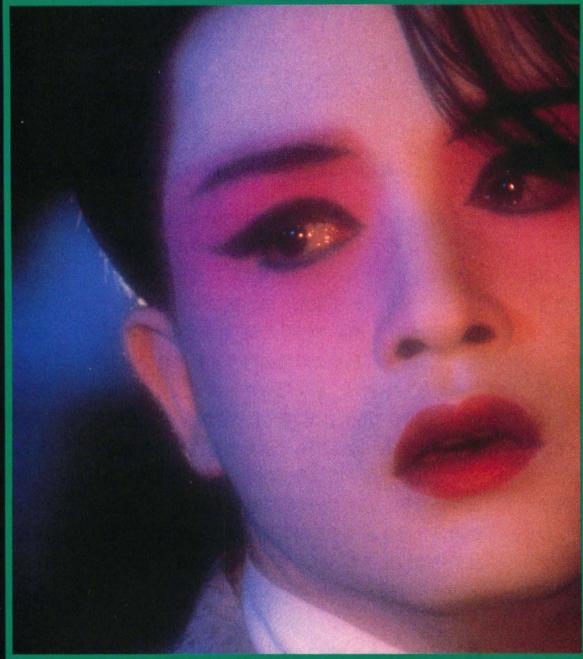


1993年カンヌ国際映画祭パルムドール賞受賞

『欲望の翼』張國榮(レスリー・チャン) / 『紅いコーリャン』鞏俐(コンリー) / 『甲斐と彌生/昔水の陣』張豊毅(チャン・フォンイー)
製作: 湯君年(トウ・クンニェン)、徐楓(セウ・フン) / 原作: 李碧華(リー・ピョク) (導演: 陳凱歌) / 脚色: 李碧華(リー・ピョク)、盧巖(ルー・ワン)
監督顧問: 陳偉權(チェン・ワイケン) / 撮影監督: 顧長衛(クワン・チンウエイ) / 美術: 楊子和(ヤウ・チーホ) / 編曲家: ヤン・マン・ア
衣装デザイン: 陳鳳敏(チェン・フンミン) / 京劇指導: 史高生(シー・ゴウシェン) / イメージ・ソング: 林憶蓮(リン・イックリン) / 音楽: 劉季平(リウ・チー・ピン) (原曲: ヒタケ・レコード)

『子供たちの王様』監督: 陳凱歌(チェン・カイコー)



動乱の中国を舞台に、壮大なスケールで描く大河ロマン。

新興産業 **さいてい** シネマ・スペシャル

さらば、わが愛

霸王別姫

はおうべっき



愛しても愛し足りない、憎んでも憎みきれない、舞台を染める運命の愛。

FAREWELL TO MY CONCUBINE

1993年 香港映画(トムソン・フィルム(香港))製作 北京映画撮影所 中国電影合作製片公司 製作協力 (C) (TM) (SM) 提供: テレビ東京・ヘラルド・エース(配給:ヘラルド・エース 日本ヘラルド映画) 協賛: 新興産業

30th Anniversary
テレビ東京



さらば、わが愛

霸王別姫

はおうべっき

FAREWELL TO MY CONCUBINE



張國榮(レスリー・チャン)/鞏俐(コン・リー)/張豊毅(チャン・フォンイー)
製作：湯君年(トン・チュンニン)、徐楓(シュー・フォン)/監督：陳凱歌(チェン・カイコー)
原作：李碧華(リー・ピクワー) 早川書房刊/脚色：李碧華、盧葦(ルー・ウェイ)/監督顧問：陳懷愷(チェン・ホアイカイ) 撮影監督：顧長衛(クー・チャンウェイ)
音楽：趙季平(チャオ・チーピン) サントラ盤ビクター・レコード/美術：楊予和(ヤン・ユンワー)、楊占家(ヤン・チャンチア)
編集：裴小南(ペイ・シャオナン)/イメージソング：林憶蓮(サンディ・ラム)
1993年/上映時間 2 時間52分/ドルビーステレオ

◆カンヌが泣いた！パルムドール受賞！

「さらば、わが愛〜霸王別姫」は、1993年カンヌ国際映画祭で最高の賞に当たるパルムドール賞を見事受賞した大河叙事詩である。「あの『ラスト・エンペラー』をも越えるスケールと繊細な美学！陳凱歌監督は母国中国の動乱の50年を背景に、愛の悲劇を力強く描いた。まさに中国人でなければ描けない素晴らしい作品である」(リベラシオン紙)など、カンヌに集う全ての映画人、映画ファンが絶賛した。中国系映画の最近の発展は目覚ましいものがある。昨年のヴェネチア映画祭で「秋菊の物語」が、今年のベルリン映画祭で「ウェディング・バンケット」と「香魂女」がそれぞれグランプリを受賞、そして3大国際映画祭の最後を飾るカンヌ映画祭での「さらば、わが愛〜霸王別姫」パルムドール受賞のニュースは、中国系映画の勢いを証明するにふさわしい華々しいものであった。陳凱歌監督たちがリードする中国系映画の元気が未来の映画地図を変えることは間違いない。

◆愛と哀しみの舞い。

京劇「霸王別姫」に秘められた男と女の悲劇
「さらば、わが愛〜霸王別姫」は、京劇の古典「霸王別姫」を演じる2人の役者の愛憎を国民党政権下の1925年から60年代の文化大革命時代をはさんだ70年代末までの、50年に渡る時間の中に描いた、〈中国ニューウェイブ〉の旗手・陳凱歌監督の長編第5作。舞台は、北京。少年時代、孤児や貧民の子供たちが集まる京劇養成所で厳しい訓練を受けながらも、兄弟のように互いにかばいあい慕いあって成長した、2人の役者が主人公である。たくましい

大男の段小樓(トアン・シャオロウ)=張豊毅(チャン・フォンイー)は立て役、華奢な美青年の程蝶衣(チョン・ディエイ)=張國榮(レスリー・チャン)は女形として「霸王別姫」の人気コンビとなる。日本統治時代、第2次世界大戦、共産党政権樹立、文化大革命と、動乱の時代の移り変わる時の権力に運命を左右され、もてはやされる2人。そんな中、女形は立て役に少年時代より恋情を抱き続け、舞台の上でも私生活でも一生をともにしようと思っていたが、段小樓は高級娼婦の菊仙(チュウ・シェン)=鞏俐(コン・リー)と結婚してしまう。嫉妬と裏切りがうず巻く三角関係。愛に、舞台に、動乱の中国に生きる人間たちの生きざまを、壮大なスケールで描く一大叙事詩である。

◆レスリー・チャン、コン・リー夢の共演！

オールスター・キャストで彩る最高傑作！
主人公の女形・程蝶衣を演じるのは、香港の人気スター俳優・張國榮(レスリー・チャン)。80年代を代表する香港NO.1のアイドル歌手だった彼は、同時に映画俳優としても活躍、「男たちの挽歌」や「チャイニーズ・ゴースト・ストーリー」「欲望の翼」などヒット作での好演で、日本でも一躍有名になった。近年は歌手を引退し、俳優の仕事に専念している。現在カナダ在住。今回の映画では、役作りに必要な京劇の舞いと北京語の猛練習に励んだという。彼の華麗な動きや仕草は、初めて京劇に触れる人々をも虜にするに違いない。程蝶衣の恋敵となる高級娼婦・菊仙役には、中国を代表する美人女優・鞏俐(コン・リー)が配された。張藝謀監督に見いだされ「紅いコーリャン」「紅夢」などで主演、中国はもとより国際映画祭での上映などで海外でも多くのファンを得てい

る。型にはまらない女優を目指す彼女の演技は、内外を問わず高い評価を得ている。本作での彼女は、その美しさにますます磨きがかかり、また多くの観客を魅了することだろう。程蝶衣の相手・段小樓役には、その演技力に定評がある張豊毅(チャン・フォンイー)。陳凱歌から中国第五世代の監督たちの同期生で、デビュー作「駱駝の祥子」では81年の映画賞を総ナメにした実力派。中国で放映されたテレビの大河ドラマ「項羽と劉邦/背水の陣」では「国士無双」と呼ばれた悲劇の將軍・韓信を見事に演じ、いまや国民的俳優になっている。

◆中国・香港・台湾から一流スタッフ結集！

この映画は、中国・香港・台湾から一流の人材が集まって製作された。シナリオライターとしてもその実績を認められている香港の女性ベストセラー作家・李碧華(リー・ピクワー/リリアン・リー)の同名小説を原作に、台湾のベテラン女優にしてプロデューサーの徐楓(シュー・フォン)が製作を担当した。陳凱歌は、かつて京劇映画を多く監督した経験を持つ父親・陳懷愷のアドバイスを受けながら、撮影にのぞんだ。スタッフは、撮影監督に「子供たちの王様」以来コンビを組んでいる顧長衛(クー・チャンウェイ)、音楽に中国映画音楽界の第一人者・趙季平(チャオ・チーピン)(93年12月初来日公演予定)など一流のスタッフが参加。イメージソングを香港の人気歌手サンディ・ラムが歌っているのも話題のひとつだ。93年1月1日に香港で先行公開、本国中国では7月28日に北京で1回だけプレミア上映された後、8月初旬に上海で一般公開、期間中のチケットが即日売切れるほどの大ヒットを記録した。

2月11日(祝) 愛のロードショー!

特別鑑賞券1700円発売中

当日料金2000円(税込) 定員制・入替制 (満席時と上映開始後は御入場いただけませんので予め混雑状況をご確認下さい。)

Bunkamura 5th Anniversary
ル・シネマ
ル・シネマ1/12:10/15:45/19:20
ル・シネマ2/11:20/14:50/18:40
Bunkamuraを愛するオフィシャルサプライザー
HITACHI NEC NTT 東京銀行

●お問合わせ Bunkamura
03-3477-9264

パツ!とさいでりあ

全国をカバーする信頼のネットワーク



新興産業株式会社